

伊賀市 事務事業事前評価シート

新規・整備事業

事業名	コード	名称
2017	16	国補消防施設整備事業
基本施策	16	火災を防ぎ、市民の命を救う

担当部課名	消防救急課
作成者氏名	豆本 弘文
連絡先	24 - 9102

事業の計画・内容

整備目的	耐震性貯水槽の新設 耐震性貯水槽の整備により、火災・災害時の水利の確保、生活用水の確保と備えをすることで、安心して生活ができる。	整備内容	1 整備面積等	
	2 規模・構造		耐震性貯水槽 40 m ³ 級 4基	
	3 総事業費(千円)		23,700	

投入資源

		H18	H19	H20
投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
	事業費(B)	23,700	23,700	23,700
支出内訳(千円)	工事請負費	23,200	23,200	23,200
	その他	500	500	500
	合計(A+B)	24,420	24,420	24,420
財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	10,472	10,472	10,472
	地方債	11,400	11,400	11,400
	受益者負担 その他特財			
一般財源	2,548	2,548	2,548	
上記 ~ に関する特記事項				

根拠法令・要綱等	消防組織法・消防水利の基準
関連事業	

事業年度

開始年度	平成 18 年度	終了年度	平成 年度
------	----------	------	-------

事業計画(同内容の資料がある場合、添付でも可)

区分	年度				
	H18	H19	H20	H21	H22
耐震性貯水槽	4	4	4	4	4

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	目標
耐震性貯水槽の充足率	消防水利の充足率:「消防水利の基準」に基づく基準数に対する現有数の割合を指標としました。 18年4月消防施設整備計画の見直しにより次のようになっています。 現有数2420 ÷ 基準数3473 × 100 = 70.7	平成 22 年度 73%

評価	必要性	有効性	効率性
評価	4	4	4
	プレート境界型地震の発生が危惧される中、市町村の消防責任遂行に必用不可欠な事業である。		
	消防水利の増強が強く望まれていることから、合併による不均衡の是正を考慮して、消防施設整備計画に基づき整備し		
合併により整備指針の見直しを行い、水利の不足している地域に年次計画により耐震性貯水槽を整備し、火災及び震災時の水利の確保を目指しています。 また、18年度から新たな事業で、国庫補助事業により整備することで、経費の効率性を図ります。			

総合評価

A